

『動物の進化生態学入門—教養教育のためのフィールド生物学—』

(富山清升 著, 学術図書出版社)

正誤表 第1版 第1刷 用

頁	場所	誤	正
8	コラム 4 行目	約 1000 万年前	約 700 万年前
8	コラム 5 行目	チンパンジーとの分岐以降	チンパンジーとの分岐 (正確な表現では, ヒトとチンパンジーの共通祖先種とヒトの祖先種との分岐) 以降
8	コラム 11 行目	(ミトコンドリア・イブ)	(ミトコンドリア・イブ: 本来の意味は母系遺伝をさかのぼった 1 名の女性を指す名称だが, ここでは便宜的に用いている)
8	コラム 12 行目	8 タイプのみであり	おおむね 8 タイプであり
14	図 2.1 の説明末尾	転載.	転載. 宮本句子さんのご厚意による.
30	下 14 行目	スートピー	ス イートピー
31	図 3.3 の説明 2 行目	bbll の劣性ホモ個体	bbll の 潜性 (劣性) ホモ個体
33	下 11 行目	劣性ホモを	潜性 (劣性) ホモを
33	下 10 行目	劣性ホモ (aabb)	潜性 (劣性) ホモ (aabb)
35	23 行目	優性ホモ (YY)	顕性 (優性) ホモ (YY)
36	1 行目	劣性であり, A と B は不完全優性	潜性 (劣性) であり, A と B は不完全 顕性 (優性)
36	3.2.3 項 1 行目	9 : 9 : 3 : 1 であった	9 : 3 : 3 : 1 であった
38	3.3.2 項 7 行目	III 部第 7 章	III 部第 27 章
39	図 3.14	以下の図に差し替えてください.	
39	図 3.14 の説明 2 行目	に対して優性である	に対して 顕性 (優性) である
41	8 行目	決定的な証拠がない.	決定的な証拠がない. これらの細胞器器官は, 卵細胞で子に遺伝するため, 細胞質遺伝という.
44	下 2 行目	事例で考えてみ 見 よう.	事例で考えてみよう.
48	下 7 行目	思い豆と軽い豆	重 い豆と軽い豆

52	下 8 行目	チミン (T) で、RNA は、	チミン (T) で、RNA は、
54	2 行目	DNA が遺伝物質でことが	DNA が遺伝物質であることが
61	7 行目	RNA 合成酵素によって	RNA 合成酵素 (RNA ポリメラーゼ) によって
64	下 2 行目	数%がネアンデルタール人	数%のネアンデルタール人
72	本文 3 行目	メンデル遺伝学を基盤とする体系	メンデル遺伝学を基盤とする体系
78	1 行目	7.2.4 劣性遺伝子病とその遺伝子の頻度	7.2.4 潜性 (劣性) 遺伝子病とその遺伝子の頻度
78	2 行目	劣性遺伝子病の遺伝子保持者	潜性 (劣性) 遺伝子病の遺伝子保持者
79	下 9 行目	新川ら 2020; 渡邊 2017	新川ら 2020; Strachan & Read 2018; 渡邊 2017)
81	6 行目	Hasegawa Moriguchi 1989	Hasegawa & Moriguchi 1989
81	図 8.3 の説明 1 行目	<i>Columba livia</i>	<i>Columba livia</i>
87	下 5 行目	現代人とネアンデルタール人	現代人とネアンデルタール人
96	図 9.2 の説明 3 行目	白ネコ	とらネコ
96	図 9.2 の説明 5 行目	白ネコ	とらネコ
105	16 行目	DNA の塩基 1 個だけが置き換わった非同義置換による、点突然変異であり、暗色遺伝子 (C) は顕性 (優性) 遺伝子であり、野生型の明色遺伝子 (c) は潜性 (劣性) 遺伝子であった。	翅の色彩を決めるある遺伝子の DNA 塩基配列の部位に、トランスポゾン (転位因子) の働きによって、約 2200 程度の塩基が挿入された結果であることがわかっている (van't Hof <i>et al.</i> 2016)。
117	4 行目	1990 年頃の急速に消えてしまった	1990 年頃、急速に消えてしまった
122	20 行目	地下数 1000m~地上 1000m	地下数千 m~地上数千 m
124	2 行目	からしメンタイで有名な	辛子明太子で有名な
146	下 9 行目	タンカニールカ湖	タンガニールカ湖
146	下 7 行目	生殖的形質置換の結果生じた進化の典型例である	生殖的形質置換が生じ、これを適応放散とよぶ
172	8 行目	物連鎖	食物連鎖
174	下 2 行目	多要素指数	多様性指数
178	コラムのタイトル	軟体棒物	軟体動物
192	17 行目	地球を 7 周した	地球を 7 周したことが判明した
192	下 1 行目	(Ian 1997 等)	(Thornton 1997 等)
193	1 行目	鬼海火山大噴火と	鬼界火山大噴火と
193	図 19.16 の説明文	鬼海カルデラの	鬼界カルデラの
193	図 19.16	鬼海カルデラ	鬼界カルデラ
198	図 20.5 の説明 1 行目	ミシガン州とある休耕中の	ミシガン州のとある休耕中の
200	5 行目	の仲間の一部による空中窒素の	の仲間の一部) による空中窒素の
204	21.1.1 項 3 行目	定番番組でもある。	定番番組となる。
204	下 1 行目	ティンバーゲン、フィリッシュ日本人は、	ティンバーゲン、フィリッシュらの 3 名であった。一般に、日本人は、

221	図 23.4 の説明 3 行目	左：種名・属名不明	右：種名・属名不明
233	図 24.1 の説明 1 行目	ジョン・メイナードスミスさん	ジョン・メイナード＝スミスさん
233	図 24.1 の説明 4 行目	稲森会館	稲盛会館
286	コラムの最後	以下の付け加えてください。 ※ 2024 年 3 月に IUGS は人新世の提案を否決した。	
296	下 15 行目	アブレラ種：umbrella species	アンブレラ種：umbrella species
305	下 12 行目	優先林	優占林
305	下 1 行目	までは普通に見られた。	までは、日本全国において、広く普通に見られた。
307	14 行目	見るならば、里山論は	見るならば、このような里山論は
307	20 行目	保全生物の前提とした	保全生物を前提とした
310	図 33.5 の説明 6 行目	11 月 14 日	9 月 14 日
311	下 12 行目	(Moese 1887)) .	(Moese 1887).
314	下 8 行目	ルイセンコの並ぶ	ルイセンコと並ぶ
316	下 9 行目	(Caplan, 1978;	(Caplan 1978;
317	下 12 行目	京都大学, 九州大学, 名古屋大学, 九州大学, 東北大学	京都大学理学部, 九州大学理学部, 名古屋大学農学部, 大阪市立大学理学部, 東北大学理学部, 東京大学教養学部等
318	12 行目	植物生態学・分類学	植物生態学, 分類学
324	14 行目	塩崎拓也・他：鹿児島大学	塩崎拓也・横井 遥・宮田理湖・荒木 諒・坂田勇志・寺尾綾華・松元友祐・鈴木道裕・他：鹿児島大学
324	16 行目	稲田広司・大原昌宏	稲田広司・伊藤由美子・片平聖子・久木留博美・和田智子・澤井和代・塚原淳・長崎祐二・三浦正治・野間まり・久保正昭・小屋和幸・葛蒲一郎・宅間聖湖・濱田 進・藤井宏治・濱井京一・松下暢斉・田邊 力・坂井数美・大原昌宏
324	下 11 行目	センター), 橋本達也	センター), 藤田志歩・河邊弘太郎・井村隆介・伊藤昌和・川端訓代・大野裕史・塗木淳夫・今井 裕 (鹿児島大学共通教育センター), 橋本達也
324	下 8 行目	小松啓司・古賀典夫	小松敬司・清水恵子・古賀典夫
325	下 20 行目	textitZeitschrift für Tirpsychologie	Zeitschrift für Tirpsychologie
328	上から 12 行目と 13 行目の間	以下の文献を追加してください。 van't Hof, A. E., Campagne, P., Rigden, D. J., Yung, C. J., Lingley, J., Quail, Hall, N., M. A., Darby, A. C. & Saccheri, I. J. (2016) The industrial melanism mutation in British peppered moths is a transposable element. <i>Nature</i> 534 : 102–105.	
331	下 21 行目	以下の文献を追加してください。 Strachan, T. & Read, A. (2018) <i>Human Molecular Genetics</i> (5th Edition). Oxford.	
335	26 行目	Ian, T. (1997)	Thornton, I. (1997)

356 コラム内 (1) 末尾 以下の文を追加してください。
ロンドン動物園無脊椎動物部門のご厚意による。

362 下 5 行目 細胞質遺伝, 162 細胞質遺伝, 41, 162

巻末のアンケート用紙①～④

- 質問 (1) の五段階評価の項目 1 つ目
学習のヒントは得られなかった ← 1・2・3・4・5 → 本のレベルは適切だった
を削除。
 - 質問 (4) の最後
誤：書いてください。 ⇒ 正：書いてください。
-